

## (臨床研究に関する公開情報)

大阪南医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

### [研究課題名]

気管挿管に使用する筋弛緩薬（ロクロニウム）の効果持続時間のベイズ統計モデリング

### [研究責任者]

麻酔科 林 英明

### [研究の背景]

全身麻酔では、麻酔薬以外に筋弛緩薬と呼ばれる薬剤を使用します。現在、本邦ではロクロニウムと呼ばれる筋弛緩薬が広く使われています。全身麻酔開始時に標準的な用量のロクロニウムを投与しますが、その効果持続時間には個人差が存在します。この個人差には、投与量以外に年齢・性別・体格・併用する麻酔薬の種類など、複数の要因が関係していると考えられます。本研究では、ロクロニウムの効果持続時間とこれに影響する要因の関係を統計モデルを用いて分析し、両者の関係を定量的に考察することを目指します。

### [研究の目的]

全身麻酔開始時に投与するロクロニウムの効果持続時間とこれに影響する要因の関係を統計モデルを用いて分析し、両者の関係を定量的に考察することを目的に本研究をおこないます。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

2020年10月1日から2021年12月31日の間に全身麻酔を受けられた患者さん

#### ●研究期間： 2021年10月1日から2022年3月31日

## ●利用する検体・カルテ情報

検 体： なし

カルテ情報： 手術日、年齢、性別、身長、体重、診療科、病名、手術術式、術前血液検査結果（AST・ALT・T-Bil・Crn・eGFR・HbA1c）、全身麻酔に使用した薬剤とその用量

## ●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用・保管します。

## [研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

## [個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

## [問い合わせ先]

国立病院機構大阪南医療センター

麻酔科 林 英明

電話 0721-53-5761 FAX 0721-53-8904